

平成28年度全体事業・活動報告

実施日：平成28年4月1日～平成29年3月31日

		内 容	人数	主 催
4	13	神奈川県協働課（認定）聞き取り調査	4	県
	21	いせはら災害ネットワーク<第1回運営委員会>	1	災ボラ
	22	熊本地震義援金街頭募金	2	ボラ協
	23	いせはら災害ボランティアネットワーク<総会・研修会>	1	災ボラ
	22	市ボランティア連絡協議会<第30回総会>	4	ボラ協
5	6	監査	5	当会
	19	伊勢原・福祉のまちづくりを進める会<第1回定例会&総会>	2	進める会
	24	総会資料印刷	3	当会
	27	伊勢原市ボランティア連絡協議会<第32回通常総会>	4	ボラ協
	28	地域福祉を考える会第12回総会（出席42, 委任状出席35）	77	当会
6	3	社会福祉協議会 小地域活動報告会	2	社協
	15	法務局（辻堂）書類手続き	1	当会
	18	伊勢原・福祉のまちづくりを進める会<石田小学校>	2	進める会
7	12	伊勢原市ボランティア連絡協議会<新旧運営委員会歓送迎会>	3	ボラ協
8	28	伊勢原市<総合防災訓練>	2	市
9	7	認定NPO法人として認定される		
	16	会員交流会<富岡製紙工場>	8	ボラ協
	20	道灌まつり打ち合わせ会	2	社協
	24	伊勢原市障害者スポーツ大会	3	市
	27	認定NPO法人取得に関わる説明会（県NPO協働推進課）	2	県
10	1・2	第49回伊勢原観光道灌まつり<模擬店出店>	40	市
	11	赤い羽根街頭募金協力	4	社協
11	16	駅周辺クリーンキャンペーン	4	ボラ協
	19・20	サポセンフェスタ（パネル展示）	4	サポセン
	18	関東NPO映像祭に出品する動画制作について協力(計3回)	6	産業能率大
	21	WE21ジャパン厚木<会の活動&こども食堂について>	1	厚木
12	2・5	年末助け合い街頭募金	4	社協
	3	交流親睦会（読書会・子ども食堂・学習サポーター）	22	当会
2	1	伊勢原ロータリークラブ卓話<会の活動>	2	伊勢原ロータリー
	10	生協協同組合ユーコープ本部（こども食堂について）来訪	2	当会事務所
	20	日向薬師宝城坊&浄水場見学	6	ボラ協
	25	講演会「今すぐ役に立つ・男女の会話術」	3	協働課
3	9	会社訪問レナティク<会の活動>	2	
	24	東海大学医学部 副学長訪問<会の活動>	4	
	30	生協協同組合ユーコープ本部こども食堂視察	6	

<その他の活動>

- ◇三役会議 1回 (9/27)
- ◇理事会 1回 (5/11)
- ◇伊勢原市ボランティア連絡協議会運営役員会：毎月第2火曜日 計12回
- ◇市民活動サポートセンターのあり方について（市民部長・協働課長と打ち合わせ）3回
- ◇市民活動サポートセンター協議会：1回 (4/27)
- ◇サポセンフェスタ実行委員会：4回 (6/3,8/1,9/7,1/17)
- ◇伊勢原市社会福祉協議会 登録団体調整会：2回 (8/2,2/9)
- ◇伊勢原市男女共同推進委員会議：9回
- ◇人を対象とする味 研究開発及び実証試験に関する倫理審査会：3回(6/27,10/24,12/1)
- ◇ニュース発行 (6, 8, 10, 1, 3月) 計5回

未来セミナー「読書会」

<活動方針>

地域での暮らしや地域福祉のベースになる様々な社会動向を読書を通じ
いろいろな立場から考え合う場所としての読書会です。

活動場所：シティプラザ1階社協会議室



{内容}		{参加者}
第1回	6/25 (土) . . . 28年度を進め方・ミニ講話 (宮森孝史理事長)	7名
第2回	7/23 (土) . . . 「たとえ病むとも」 重兼 芳子著	10名
第3回	8/27 (土) . . . 「君に読む物語」 ニコラス・スパークス 著	12名
第4回	12/3 (土) . . . 「死なないでいる理由」 鷺田 精一 著	15名
第5回	2/25 (土) . . . 「脳が壊れた」 鈴木大介著	9名

☆宮森孝史アドバイザーの協力で4冊の本をもとに意見交換をし、共に考える時間を共有できました。

平成28年度 友愛電話活動報告

28年度も一人暮らしの方や日中独居で話し相手がない方等に、社会福祉協議会の協力を得て電話サービスを実施した。

1 活動日 月曜日午前・午後 木曜日午後

2 利用者の実人員

28年4月 20名

29年3月 19名

※年度内新規5名、死亡0名、入所3名 中止2名、休止中1名

休止：本人の希望、家族と同居により

電話活動状況

月	実人員	月曜日午前		月曜日午後		木曜日 午後		ホウ延数
		回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	
4	20	4	26	4	24	4	28	36
5	21	4	25	4	27	3	16	33
6	18	4	24	4	24	4	18	36
7	18	3	18	3	18	4	22	30
8	19	3	20	3	18	3	15	26
9	21	3	27	3	20	3	15	26
10	20	4	35	4	27	4	16	33
11	20	4	35	4	26	3	12	32
12	18	4	29	4	24	4	16	36
1	17	3	21	3	18	4	16	30
2	20	4	31	4	25	4	16	34
3	19	3	24	3	21	4	18	30
計		43	315	43	272	44	208	382

※ 活動日に利用者が通院や外出、入院等がわかっている方には電話をしなかった。8/22は台風のためお休みした。

※ 利用申し込みがあったが、本人の希望により保留となっている人がいる 1名

3. コーディネーター会議

4/21 .6/30 29.1/18 .3/3.

4 ボランティア調整会議 7/27 14名出席

1、研修「傾聴・話を聴くということ」

講師： 理事長 宮森 孝史

2、会員同士の懇親会

5. 初級友愛電話講習会開催 6/30 参加者13名（新規4名）

6. その他

- 利用者に暑中見舞いと年賀状を送付
- 利用者を増やすために市や社会福祉協議会に協力を依頼。
- 市身体障害者福祉協会へ依頼し友愛電話チラシをPR依頼。
- 公民館・商業施設等にチラシを掲示や配布願ひ
- 今年度も利用者の方が続けて3~4回以上電話に出られない事が数回あり、その都度、社協担当者に連絡し、市担当課や民生委員に連絡をとってもらい状況を把握することができた。

包括支援センター協力で、福祉サービスが速やかに導入されたケースもあった。

7. ボランティア登録者数 23名（H29.3現在）

平成28年度 子育てひろば「きらきら」活動報告

<活動方針>

お母さんとお子さんが、共にゆったりとした雰囲気の中でおしゃべりしたり、子育て中の悩み等を共有し、子育て中のお母さんの息抜きができるようなひろば

<男女年齢別・全体数>

月	男子					女子					子供数	保護者	サポーター	全体数
	0才	1才	2才	3~5	計	0才	1才	2才	3~5	計				
4	0	6	1	0	7	3	9	1	1	14	21	18	19	58
5	1	8	7	0	16	1	8	8	0	17	33	31	21	85
6	3	9	8	1	21	0	11	11	2	24	45	39	29	113
7	3	9	8	2	22	0	6	9	4	19	41	35	22	98
8	2	8	4	5	19	1	6	8	3	18	37	29	23	89
9	1	4	5	1	11	2	2	4	2	10	21	17	16	54
10	3	6	10	3	22	1	5	8	0	14	36	33	18	87
11	4	2	9	1	16	0	5	9	1	15	31	26	16	73
12	2	7	14	4	27	2	8	12	7	29	56	46	21	123
1	0	3	5	1	9	0	0	3	2	5	14	14	12	40
2	2	3	8	1	14	0	3	11	5	19	33	28	24	85
3	4		12	6	22	2	3	10	5	20	42	33	18	93
計	25	65	91	25	206	12	66	94	32	204	410	349	239	998

◇開設日：平成17年7月

◇活動日：火・木曜日（AM10：00～12：00）◇場所：シティプラザふれあいホール

◇活動数：火曜日34回・木曜日10回（計44回）☆27年度43回（513人）

◇サポーター調整会議 3回

◇リフレッシュ、すこやか体操/ヨガ 毎月1回

◇12月クリスマス・サンタづくり・3月折り紙でお雛様づくり

◇ひろば終了後、希望者だけ残りお昼ランチをする。（4回）

◆外部ボランティア協力

○おはなしバルーン 年3回、紙芝居・わらべ歌・手遊び

○もぐら座 年1回（12/13）、人形劇・紙芝居等

○生協ユークープ 年2回（9/13, 2/7）、災害に役立つ防災術・おやつ選び方・試食

○山戸浩子指導 ヨガ体操

◇子育てサポーター 登録12名（29年3月現在）

◇市社協 小地域活動推進事業助成金（子ども傷害保険・講師謝礼・会場代・消耗品購入等）

平成 28 年度 成年後見部会 活動報告

障害があっても高齢になっても、住み慣れた地域で暮らし続けたいとは誰もが望むことです。この思いを実現するため、権利擁護と幸せの実現を目的とする成年後見制度が欠かせない仕組みの一つとなっています。

このため、県内の市町村社会福祉協議会を中心に市民後見人の養成が開始され、伊勢原市社会福祉協議会では、平成 26 年 11 月から「市民後見人養成講座(基礎研修)」が開催されており、平成 28 年 11 月には「権利擁護・成年後見推進センター」が社会福祉協議会内に設置されています。

こうした状況の下、成年後見部会は伊勢原市や近隣の地域で信頼される法人後見人を目指し、将来想定されるニーズに適切に応えられる事務局体制の充実・強化に取り組みました。一昨年度から養成していた会員後見人を 5 名増員しています。

新たに後見業務を専門的に担当する事務職員を採用し、引き続き事務の効率化や合理化に取り組んでいます。

1. 受任の状況

受任年度	類型別人数		任意	合計
	後見	保佐		
平成 18 (2006) 年度	3	2		5
平成 19 (2007) 年度	1			1
平成 20 (2008) 年度	1			1
平成 24 (2012) 年度		1		1
平成 25 (2013) 年度	2	4		6
平成 26 (2014) 年度		2		2
平成 27 (2015) 年度			1	1
合計	7	9	1	17

*平成 28 年度は新たな受任はありませんでした。

(1) 年代別

20 代~30 代 7 人
40 代~50 代 6 人
70 代 4 人

(2) 性別

女性 8 人、男性 9 人

2. 担当者の状況

会員後見人 12 人 事務局 (事務局職員 2 人)

3. 活動内容

(1) 身上監護

毎月最低 1 回のご本人及び関係施設等担当者との面談。家族会、個別支援計画及び面談等への参加。各種事案に関する各手続き、話し合い等。施設行事への参加。GH 入居契約、住所変更に伴う手続き。医療契約。

(2) 財産管理

ご本人からの個別相談対応。銀行口座の開設・変更手続。預貯金管理、小遣い管理。本人名義の土地家屋の処分に関する各種の手続き。市町村への報告事務。

家庭裁判所への定期報告。

(3) その他

伊勢原市社会福祉協議会が主催する成年後見・権利擁護サポート連絡会への参加。市民向け後見制度に関する公開講座及び後見人養成研修会の開催。県西地区擁護権利ネットワーク研修会・県社協主催現任者研修等への参加。定例会、事例検討の実施、各種打合せ。等

4 かながわNPO 法人後見連絡会への参加

「かながわNPO法人後見連絡会」は、平成23年9月から成年後見制度の普及促進を図るため、神奈川県社会福祉協議会が主催し、現在、当法人以外に法人後見業務を実施している9団体が参加して、後見業務などについての情報交換や事例検討等を行い、情報の共有化などの技術向上などに努めています。

よこはま成年後見つばさ（横浜市保土ヶ谷区）
かわさき障がい者権利擁護センター（川崎市川崎区）
湘南鎌倉後見センターやすらぎ（鎌倉市）
湘南ふくしネットワークオンブズマン（茅ヶ崎市）
成年後見湘南（平塚市）
ジョイサポート（座間市）
総合福祉サポートセンターはだの（秦野市）
成年後見センターかけはし
NPO成年後見 横浜やまびこ

5 28年度の事業

(1) 職員後見人の雇用

平成28年3月1日付で非常勤職員1人を雇用（週3日勤務）しました。

当部会の構成員は会員後見人（ボランティア）と職員として採用された職員後見人の2つの後見人により後見業務を行うこととなるため、「成年後見活動規則」及び「成年後見活動運営細則」の一部改正を行いました。

職員後見人の業務としては、営業活動や相談業務、会員後見人活動の支援活動等を行いました。

(2) 会員後見人研修会の開催

例年は公開講座を開催していましたが、28年度は会員後見人のスキルアップが必要でしたので内部研修を中心に月例で研修を実施しています。

(3) その他

平成28年度は被後見人に特別大きな出来事はありませんでしたが、高齢の被後見人が体調を崩したり、福祉施設から介護保険施設に移行したケースがありました。

被後見人の若い方々では、グループホームから一人暮らしにチャレンジを始めた方（男女数名）や車の免許を取得した方、就職をした方など、多くの方の自立に寄り添いました。

平成28年度 児童コミュニティクラブ活動報告

今年度も児コミを利用している子供達が、異年齢児の集団の中で健康で明るく楽しく過ごせるように、常に安全で安心な環境を整え、児童の健全な育成と福祉を心がけました。

- 伊勢原1、伊勢原2、比々多1、比々多2の4児コミの運営を行いました。
- 28年度の利用児童数228名（28年4月1日現在）でした。

	伊勢原1	伊勢原2	比々多1	比々多2	計
支援員数	9	5	7	6	27名
児童定員数	80	40	80	50	250名
28年4月1日	83	39	64	42	228名
29年3月31日	65	35	61	42	203名

28年度児童の活動

放課後の日課に基づく活動の中で、毎月の誕生日会、学期末のお楽しみ会と季節感漂う伝承行事（夏祭り、七夕さま、スイカ割り、ハロウィン、月見、初詣、ひな祭りなど）、編み物、読書、茶道体験、卓球、将棋、俳句。

3月には送迎バスを利用してボーリング場に（1児コミ）、徒歩で地元のボーリング場に（3児コミ）。

その他 ボランティアによる、マジック、ともだち座公演、本の読み聞かせ・俳句など各々の児コミ毎に活動。定期的に避難訓練、公園清掃等も実施。

その他

- ◆ 保護者会 7月1日、運営委員会6月16/17日
入所説明会3月24日行う。
- ◆ 支援員の意識調査を9月に実施。
- ◆ 支援員の意向調査を1月に実施。
- ◆ 支援員の健康診断・研修を実施。
- ◆ 長期休みには就労支援（子育て支援）の一環として、昼食（注文弁当の他夏休みにはサンドイッチ等を取り入れた。）
- ◆ おやつに、市内のパン屋さんの協力を得て、週2回手づくりパンを導入。
- ◆ 児童の安全の確認の為に、ヒヤリハット（ヒヤッとしたり、ハッとした児童の動き）の記録を日誌に記入した。
- ◆ いせはら未来っ子クラブ（市放課後子ども教室）との交流
(6/3・12/14・2/15) 計3回

□ 4児コミを運営するようになって、8年が経過しました。

学校・保育園の皆様のご支援と従事する支援員の工夫や努力により、児童が楽しく豊かな生活体験が出来る場所になるよう努めました。

地域から子どもたちの声が騒音に聞こえて生活に支障をきたしているとの苦情もありますが、遊び時間の工夫などして支援員さんは努力しています。

平成28年度 児童コミュニティクラブ会議・活動まとめ

平成29年3月31日

	活 動	実 施 日 な ど	集 計
1	ミーティング *予定 各月2回	伊勢原1 22回 伊勢原2 22回 比々多1 19回 比々多2 18回	81回
2	代表会議 *◎記は市の会議	3/16、5/20(ミニ代表者会議)6/10、7/7、9/8、 11/17、2/6、◎7/4、◎12/6、◎3/9	10回
3	学校などとの連絡会	4/11 (伊勢原小校長/教頭) 8/22 (伊勢原小学校支援協担任との情報交換)	
4	運営委員会	伊勢原学区 (伊勢原1、2) 6/16 比々多学区 (比々多1、2) 6/17	2回
5	保護者会	伊勢原1 7/1 伊勢原2 7/1 比々多1 7/1 比々多2 7/1	4回
6	入所説明会	伊勢原1 3/24 伊勢原2 3/24 比々多1 3/24 比々多2 3/24	4回
7	全体指導員研修会	2/24「児童へ対応～事例を通して～」 講師 木下 悦子	30名
8	ボランティア受け入れ *校外課外活動など	太鼓愛好会(6)・ともだち座(2)読み聞かせ他(1) マジック2団体(5)・工作(1)・俳句(1)	16名
9	支援員健康診断実施	11月	32名
10	支援員応募者面談	3月2名(1)、4月4名(2)、5月1名(1)、6月1名 7月3名(0)、11月1名(0)	採用 5名
11	その他	各児コミ 外出行事・室内行事 避難訓練に参加 4児コミ 長期休みに注文弁当を実施 支援員意識調査実施 9月 支援員の意識調査実施 1月	

こども支援事業（1）

平成 28 年度 いせはらみらい・クルリン こども食堂 活動報告

1、趣旨

相対的貧困率は悪化しつづけており、2014 年の厚生労働省の発表によると、16.3%であることが明らかになりました。教育格差、貧困の連鎖が広がっています。生活保護を受けている、もしくは、年収が生活保護費とかわらないワーキングプアの家庭で育つ子どもが、6人に1人いるのです。地域の子どもの、地域が見守り、学びや暮らしを有機的に支えるネットワークをつくり、子どもの未来を明るく変えていきたいと願っています。

現在、子供の6人に1人は貧困家庭にあると言われています。家計が苦しくて十分な食事がとれない子。家庭の事情で夕食は一人、コンビニ弁当やインスタントもので済ませてしまう子。心と体を育むはずの「食」が揺らいでいます。こうした状況の中、食の面から子どもに支援しようとして立ち上げました。

開設日：平成 28 年 6 月 23 日～

料 金：大人 300 円、こども（高校生まで）100 円

開 催：月 2 回（19 回）

場 所：だいろくコミュニティ広場 来るりん

<利用数>

	6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		
月日	23	5	21	8	25	6	29	11	27	8	24	6	22	10	26	7	23	14	30		19回
大人	63	49	49	58	67	47	49	61	51	59	40	41	56	41	53	48	34	41	49		956
こども	28	16	41	32	46	24	31	33	44	27	22	26	39	24	32	27	23	18	25		558
参加数	91	65	90	90	113	71	80	94	95	86	62	67	95	65	85	75	57	59	74		1514

<活動報告>

新聞、地方紙に載りその反響で利用者は、こどもを中心に大人も、ひとりでも家族でも、誰でも参加できて、みんなで楽しくご飯を食べる場所として多くの方々の参加がありました。物品・食材等は市内外から提供があり、ボランティアの工夫で月2回のうち1回はカレーライスと後1回は四季に合わせた献立を提供いたしました。

4/11、25 他市のこども食堂を見学

5/9 大六福社会施設長と面会（場所提供依頼）

5/31 立ち上げ準備会（8人）

6/17 第1回スタッフ打ちあわせ会

6/23 いせはらみらいクルリンこども食堂開設

◇食材・物品提供者数：延べ150名

◇NPO法人WE21 ジャパンショップ厚木（フードバンク）

◇ボランティア登録：26名

◇献立打ち合わせ会議 19回

こども支援事業（2）

平成28年度 学習サポートみらい・つなぐ 活動報告

◇事業の立ち上げ

経済的に困窮している家庭の子どもたちに、低額で学校教育外の学習支援、子どもたちが将来に希望をもてるよう支援を届けたいと願っています。

◇ 目的：学習支援サポート事業は「学習支援」「子どもの居場所」「保護者相談」を柱として進めたい

○「学習支援」では元教員・一般・学生ボランティア等の支援によりその子どもに添いながら効果的な学習支援をしていく

○「子どもの居場所」では、学習支援だけではなく、居心地のよい雰囲気づくりを行う。

○「保護者相談」では、保護者に対して、継続的な相談支援を実施し、状況に応じて他の専門機関への紹介を行う

◇開校日：平成28年9月7日

◇学年：小学5・6年生・中学生（原則）

◇サポーター：元教員(6)、一般(2)、大学生(10)

◇形態：個別・グループ指導

◇実施場所：だいろく広場来るりん（9月）・いせはら市民活動サポートセンター（10月～）

◇実施日：週2回（水、金）◇教材費：500円

◇開設数：89回（サポーター延べ数358人）

★のべ人数（実人数）

開設実績	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	8回	12回	12回	12回	14回	15回	16回	89回
3年生	8(1)	2(1)	4(1)	3(1)	0	0	0	17
4年	12(2)	22(3)	16(4)	13(4)	14(4)	15(4)	16(4)	108
5年						6((1)	7(1)	13
6年		2(1)	4(1)	3(1)	4(2)	12(2)	8(2)	33
中2	23(4)	23(4)	20(4)	17(4)	18(4)	22(5)	27(5)	150
中3	7(1)	13(2)	13(2)	11(2)	12(2)	10(2)	8(2)	74
その他					1(1)	8(1)	0	9
参加数	50	62	57	47	49	73	66	404
サポーター	37	38	43	48	57	73	62	358

◇進学：★私立高校1名・県立高校1名・その他1名

◇この事業は伊勢原市・教育委員会・伊勢原市ひとり親福祉協会の協力をいただく。

<活動報告>

4/20 市担当課（生活福祉課・子育て支援課）へ相談

4/26 教育委員会へ相談

7/8 学習支援について実行委員会会議（行政・理事・元教員・ひとり親福祉協会会長他9人）

7/13 市担当課との話し合い

7/14 ひとり親福祉協会会長と話し合い

7月～ 学生ボランティア募集（東海大学湘南校舎・健康科学部・医学部・産業能率大学）

8/21 保護者・本人説明会

9/1 市教育委員会へお願い

9/2 学習サポートみらいつなぐ開講準備

12/21 お楽しみ交流会（受講生・保護者・サポーター）

1/18 サポーターと話し合い（他2回）